

横芝町の人口と世帯

(11月1日現在)

人口	13,815	(-4)
男	6,707	(+2)
女	7,108	(-6)
世帯数	3,521	(-3)

() 内は前月比

横芝
広報

第159号

昭和52年12月1日

発行所

山武郡横芝町横芝636番地

横芝町役場

電話 04798-2-1111(代)

郵便番号 289-17



▲役場前広場にて (11.22 農業祭)

第四回農業祭は、好天にめぐまれた十一月二十二日、町中央公民館を中心に、盛大に行われました。当日は町内で生産された野菜、豚肉、牛肉、鶏卵、牛乳、花、植物などの即売会に、多ぜいの町民が集まり、新鮮で市価より安い生産物は飛ぶような売れ行きでした。この他に生活改善共進会の展示、農機具の展示即売会や、佐瀬町長による「もちつき大会」などの多彩な行事もあって、役場前広場は大にぎわいでいた。

おもな農業祭受賞者（特別賞）は次のとおりです。

海保忠義（横芝町農業賞）、成田久藏（農業功労賞）、石橋勇（農業功労賞）、若梅喜作（千葉県園芸協会長賞）、真行寺恒雄（山武支庁長賞）、大木正信（山武郡市農林業振興協議会長賞）、小川秀男（山武農業改良普及所松尾支所組合長賞）、五木田甲子吉（山武北部農業共生組合長賞）、佐久間善子（松尾農業改良普及事業協同組合長賞）、清宮利一（山武農業協同組合長賞）、伊藤金光（横芝町議会議長賞）、杉森しな（横芝町農業委員会長賞）、太田わか（横芝町農業振興会長賞）、伊藤文代（同）、錦織しげ（同）、吉岡喜一（千葉県東部蚕業指導所長賞）、太智松雄（千葉県蚕種企業組合長賞）、鈴木喜一（トラクター技術競技会優勝）。

空港対策やや前進

『地元の実情を考慮して…』と運輸省、公団

側迷惑 料を再要望

（重点4項目）

運輸省、空港公団から町の要望する重点四項目に対する回答が十一月十六日提示されました。

回答内容は、周辺対策交付金問題では、地元の実情を考慮しながら配分基準を現在検討中であり、まとまり次第地元に説明。騒音区域周辺の民防対策と経費の全額国庫負担については、開港後の測定結果が八五W E C P N L以上の騒音が生じた場合は弾力的に措置する。鉄道の延伸、Bラン飛行直下の直通道路と産業開発道路建設問題は、九十九里地域一帯の開発と合わせて誠意をもって検討してまいりたいという内容のものでした。この回答は、運輸省が高橋航空局長、空港公団が大塚総裁、町田副総裁名で行われました。

①周辺対策交付金を裏側町村に重点配分するよう

新東京国際空港周辺対策交付金（仮称）の配分交付については、地元の実情を勘案し、騒音地区内世帯数、騒音地区内面積及び公共施設等を交付基準の要素として取り入れる方向で検討しており、関係機関と協議のうえ適切なものとしてまいりたい。

大塚公四郎
総裁回答

運輸省高橋航空局長回答
航空機騒音に係る環境基準の由

②騒音区域（中台）に
準ずる周辺地域の民
防と経費の全額国庫
負担について

音地区内世帯数 騒音地区土地面積及び公共施設數等を交付基準の要素として取り入れる方向で検討しており、今後、関係機関と協議のうえ適切なものとする。
町田公團副總裁（補足）
新東京国際空港周辺対策交付全
（仮称）の配分基準（案）ができ
次第、早急に説明いたします。

また民家防音工事に係る改進工事については、既に実質的に個人負担はないよう措置されているところであるが、防音室の増築に係る個人負担については、なお一層の軽減を図るよう努力してまいりたい。

の地域開発の進展に対応して今後
地元における具体的な計画の策定を
も勘案しつつ、千葉県と十分協議
して誠意をもって検討してまいり
たい。

③ 鉄道の延伸 ④ 直通道路および開発 道路の新設

間目標を地元の協力を得て早期に達成するよう努力しているが、開港後できるだけ早期に、昭和五八年最終目標の達成を図るべく、その一環として当地区も民家防音工事の対象となるよう配慮してまい

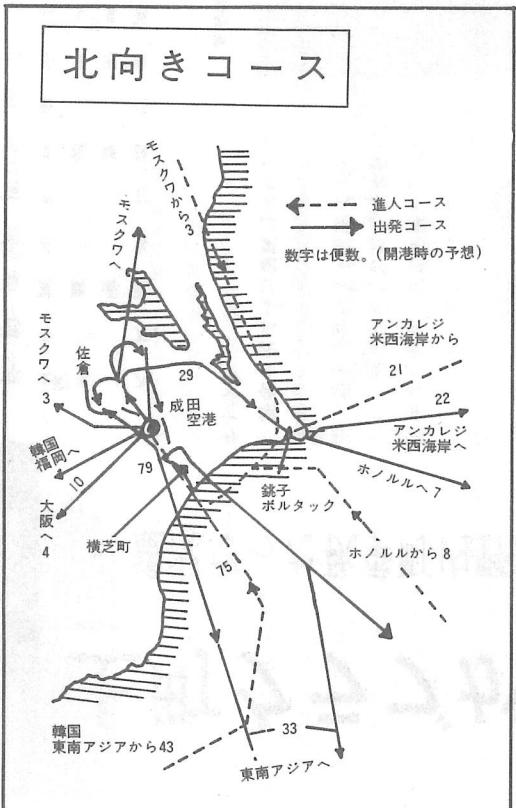
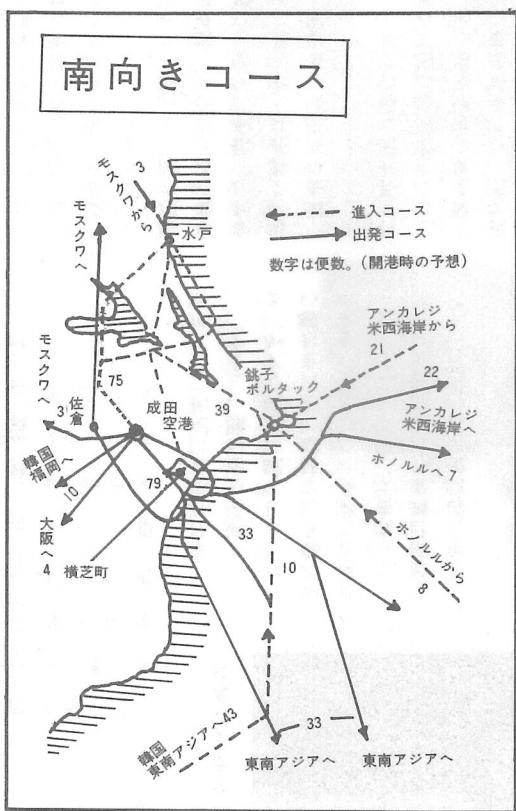
L以上の騒音が生じた場合には強力的に措置することいたします。



(3) 昭和52年12月1日

成田 空港 飛行コース決まる

成田空港開港に伴う飛行コースが図のとおり、十一月二十九日運輸省から正式に発表されました。一日平均離発着合わせて一五四便、南風の場合は北側（成田側）から着陸し、南側（太平洋側）に向かって離陸します。北風の場合はこの逆に太平洋側から着陸し、成田側に向って離陸します。南風、北風の割合はほぼ同じです。



秋山 清見さん
佐瀬浅次郎さん に感謝状

十月十八日の統計の日を記念して、長年にわたり農林水産統計調査業務にご尽力された次の二名の方々が、その功績を認められ、農林大臣から感謝状と記念品が贈られました。

受賞に對して心からお祝い申し上げます。

秋山 清見

十一月七日、山武支庁において、長年にわたり教育の道一筋に尽くして来られた四名の先生方が、その功績を認められて、県教育委員



会および山武地方教育委員会から表彰されました。

▽ 永年勤続顕彰者（三十年以上）

藤代弘一
伊藤はる
栗田俊一
上塙小
上塙小
横芝中
横芝中
伊藤和夫
教育表彰者

▽ 永年勤続顕彰者（三十年以上
（敬称略）



横芝中生徒会

「おじいさん、おばあさんの為に役立てて下さい」——と、十一

月十日横芝中学校の生徒会が、文化祭のバザー売上金四万八千円を養護老人ホームに寄付しました。横芝中生徒会では、三年前からこの運動を続けています。

しめやかに戦没者追悼式



に、二度と戦争をくり返すことのないよう英靈に誓います」——と、謹んで慰靈の言葉を述べました。

このあと県知事外各来賓の方々が追悼の言葉をのべ、遺族の方々が十三回忌の慰靈祭に出席された大木幹男さんが遺族を代表してお札の言葉をのべ、水野忠一郎町社会福祉協議会副会長の閉式の言葉で式典は終了しました。

三十数年前、「お国のために戦つてきます」と元気に出征して、帰らぬ人となつた英靈を思う時、私達は今日の平和な生活が送れる事を手放して喜ぶわけにはまいりません。

あの忌しい終戦から数えて三十年を迎えた十一月十九日、横芝小学校体育館に三百十八柱の遺族の方々と来賓多数を招待して、戦没者追悼式が行われました。

式場は、正面に戦没者追悼の標が、その背後には菊の花が飾られ簡素な中にも厳かな雰囲気をかもし出していました。

式典は午前十時、伊東巣町社会福祉協議会長の開式の言葉で始まり、一同起立して御魂に拝礼、國歌斉唱、黙とう、続いて佐瀬町長が——「私たち国民の身代りとして、国家に捧げられた三百十八柱の御魂に心から冥福を祈るととも



—青年団— 若梅定夫さん（25歳・栗山才2）

ちよどー三口

自分の生まれ育つたふるさとを大切にし、小さな親切、大きな心をモットーに、青年団活動から社会活動へと、大きく輪を広げたい。

-406-

水準の高い町の消防力

第2回ポンプ操法大会おこなわれる



▲きびきびとした演技を披露する各分団

成績は次のとおりです。
でした。

★ポンプ自動車の部

一位 本部分団三部 大総

二位 第三分団二部 栗山

三位 第三分団一部 北清水

★小型ポンプの部

一位 第三分団四部 鳥喰沼

二位 第三分団三部 鳥喰上、鳥

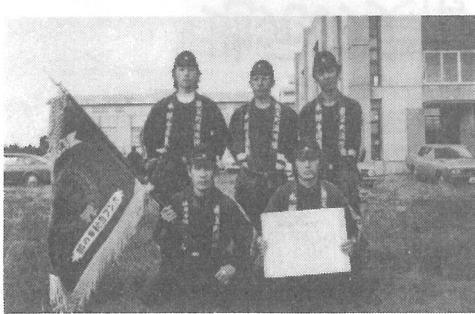
三位 第六分団四部 中台

本大会に備えて、早朝または夜遅くまで練習を重ねた選手、あるいは応援していただいた家族や部落の皆さん、本当にご苦労さまでした。

私たちもこのような消防団員の方々のご苦労に答えるべく、お互に火の取扱いに注意し、火災をおこさないようにしましょう。

◆ポンプ自動車の部優勝の

◆本部分団三部（大総）



▶小型ポンプ四部に優勝し優勝旗を受ける第三分団四部（鳥喰沼）

この大会は、日頃鍛錬した操法ノンプ操法大会が行なわれ、ポンプ自動車の部で本部分団三部（大総・伊東祐園部長）が、また小型ポンプの部では第三分団四部（鳥喰沼・清水利部長）が優勝しました。

この大会は、日頃鍛錬した操法技術を競うことによって、各部の消火活動の水準を高め、防火体制も練習の成果を充分發揮したよう

をより一層強化することを目的と

して行っているもので、各分団とも練習の成果を充分發揮したよう

自分の生まれ育つたふるさと

を大切にし、小さな親切、大き

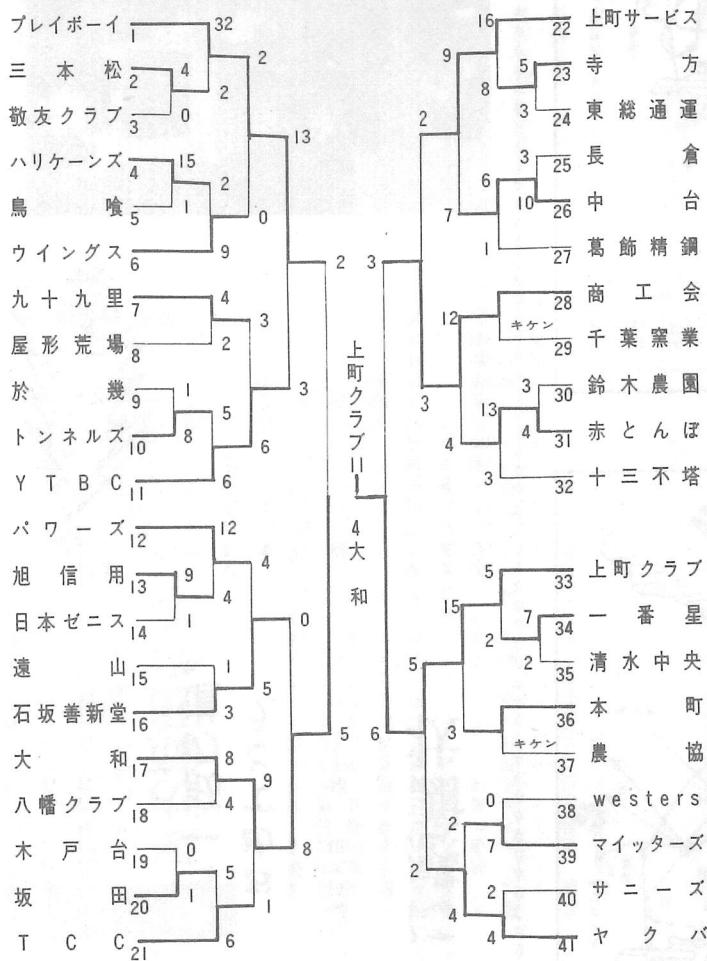
な心をモットーに、青年団活

動から社会活動へと、大き

く輪を広げたい。



▲優勝した上町クラブチームのメンバー



上町クラブが優勝

—盛況だった秋季町内野球大会—

十一月十三日、町営野球場を会場として、秋季町内野球大会の決勝戦が上町クラブ（上町）と大和（北清水）の間で行われ、日頃の練習量に勝る上町クラブが、追いつがる大和を振り切り優勝しました。

今大会は、各チームともに日頃の練習の成果が充分發揮されたよう、実力伯仲の好試合が展開され、随所に好プレーが見られました。組合せ表および結果は次のとおりです。



►熱戦の上町クラブ対大和

工業統計調査にご協力を

今年も通商産業省の所管による、工業統計調査の時期がきました。この調査は、毎年十二月三十一日現在で調査いたします。年末年始の御多忙な時期に記入をお願いいたしまして誠に恐縮ですが、よろしく御協力をお願いします。

工業統計調査は昭和二十二年か

ら国の指定統計調査として実施されてきました。調査は製造業に属するすべての事業所を対象とし、製造事業所についての生産のために使用された生産要素および生産活動の成果などについて調査し、

我が国における製造業の分布状況や製造業の実態を明らかにするとともに生産活動に関する基本的資料を各方面に提供することを目的としています。

調査の方法は、通産省—県—市町村—調査員—申告者の経路で行なわれ、知事が任命した調査員が事業所にうかがい、調査票に該当事項の記入をお願いすることになります。

調査票に記入された内容については、統計以外の使用は禁止されており、その秘密の保護が法律によつて義務づけられておりますので、申告者の不利益となるようなことは一切使用いたしませんから、ありのまま御記入くださるようお願いします。

皆様から提出された調査票の集計結果は、国および地方公共団体の行政資料として、あるいは民間企業の経営上の参考資料として広く利用されています。年末年始のお忙しい折りに、誠に恐縮ですが調査の主旨を十分御理解くださいましてよろしく御協力くださいまますよう重ねてお願い申し上げます。

編笠づくり



大木せゑさん

(東町才4・70歳)

18の時から習い始めたという編笠づくり。
「今は趣味で時々つくるだけですが、戦時中は一個10円で
売れたんですよ」と、懐かしそうに話してくれました。

私はまだ未成年で、税について深く追求する必要などないのかも知れません。しかし、近い将来、私はまだ未成年で、税について深く追求する必要などないのかも知れません。しかし、近い将来、税は日本の場合、独身者で約八十三万、夫婦と子供二人で約二百五十五万近くの所得の人は、その所得の三十パーセントを大幅に上まる三十七パーセントをも支払わなければならぬのです。

昭和五十二年度の一般会計予算の歳出は、二十パーセントが社会保険関係費となっています。社会保険について、社会保険には、医療保険と年金保険があり、医療保険は病気やけがをした時、安い費用で十分な治療が受けられるための制度で、年金保険は老後も安心して生活できるための制度です。

さらに、年金保険の中でも、国民年金、厚生年金などに分かれています。このように、社会保障関係だけでも、いくつもに分かれ、複雑なしくみの中で、国民が安心して暮らせるように、よりよい生活を作るように考えられているのだと思いました。私の知らない社会で、すべての国民の生活のためにくふうされている、私にはまだまだわからない、むずかしいおとなの世

界のように思えました。私が一番驚き、予想外だった事は、お酒やトランプなどにも、税がかかるといふ事でした。清酒、ワイン、ビールなどにかかる税、宝石、ゴルフ用具、自動車などの高級な品物にかかる物品税などの間接税です。特に、ビールなど、小売価格の四十二パーセントが税額なのです。私はふと、国民は、国民のための税金に苦しめられはしないかと思いまし

税について考える

向後友理子（横芝中二年）



町民のひろば

—407—

万以上の所得の人が、その所得の約二十パーセント近くを税金として納めなければいけません。どうして二十パーセントも支払わなければいけないのか、私はどこに、そんなにもお金が使われるのか、不思議でした。しかも、日本はこれまでびしきない方で、イギリスなどでは、所得税課税最低限が、独身者で四十万、夫婦と子供二人で八十五万近くの所得の人は、その所得の三十パーセントを大幅に上まる三十七パーセントをも支払わなければならぬのです。

農業改良共進会で特別賞(品名・トマト)を受賞した若梅喜作さん(35歳・栗山東部)



施設園芸(トマト・メロンの輪作)に取り組んで3年目。何ものにも替えがたい作る、働く喜びを感じているという若梅さんは——露地野菜よりも生産費のかかる施設園芸は、良品、多収が経営安定の才1条件。そのためには化学肥料のみにたよらず、有機質肥料の投入も必要——と、以前から続けている肉牛飼育にも熱を入れ、効率のよい経営をおこなっている。

界のように思えました。

私が一番驚き、予想外だった事

は、お酒やトランプなどにも、税

がかかるといふ事でした。

清酒、ワイン、ビールなどに

かかる税、宝石、ゴルフ用具、

自動車などの高級な品物にかかる

物品税などの間接税です。特に、

ビールなど、小売価格の四十二パ

ーセントが税額なのです。私はふ

と、国民は、国民のための税金に

苦しめられはしないかと思いま

た。中には、税法を正しく理解しないで、税金を納めている人がいると思うのです。税法を正しく理解して、よりよい社会を作りあげることが、これからの大変な課題ではないかと思います。

以上、私が簡単に調べただけで、よく、たくさんの税法について知ることができました。これをよい機会とし、社会の知識を深めていきたいと思います。

(7) 昭和52年12月1日

横芝の碑 (その六十一)

水神様の祠は知っていた

栗山川の昔の流れを

できる様になつて来る辺りで堤の下を見ますと、こんもりとした混合樹らしい森が見えます。たたずまいや周囲の情景等から何となく弁天様のような気がするのですがここは水神様の森なのです。

水神様というと、大ていは水源とか流れの分岐点等に祭られていて、何となく不思議な感じがいたします。尙が、この水神様も元は栗山川の流れの分岐点に建つていたのです。

いる木戸橋から、横芝寄の栗山川堤を海の方に下つて行きますと、暫らくは耕地や養鰻場が広々と続

野良策さんは「私の父が神官であります」と前置をされて、次の様に話してくれました。「この辺が



▲木もれ陽の中にひっそりとたたずむ水神の祠

昔の栗山川は、この辺から海へ注ぐ川裾になつていて、川巾も広く、今よりもずっと低湿地帯で、川の流れも幾筋かに別れていました。それに、津浪や高汐、洪水等で幾度か川の流れも変つたので、水神様も、弁天様と間違えられることが多い場所になつてしまつたということです。このことについて昔のことを覚えておられる三本松の浅

これだけの耕地になつたのは幾度かの河川改修と耕地整理の結果です。水神様の辺りは河川敷の広い流れで、それが数本に岐れたり、又続いたりしていく、中にはその流れに区切られて孤立した島の様になつて舟舟で往来した場所もあ

した。実を言うと、一度足を踏み入れようとしたのですが、路らしい路も見付からず、まご／＼している中に、突然一メートル近い青大将に目の前を横切られて、泡を噴つて逃げ帰り、とても一人では入って行く気がしませんでした

部と表面に毀損してて、神名も
何も見当りませんが、側面には、
寛政四年九月、願〇 吉左衛門、
助八郎、の文字が判りと刻まれて
います。



審議会委員

て辺りに暗さを感じさせています。祠の両側に見える角材は屋根だけになつて倒れかけている小屋の脚部です。（本稿取材に当り、三本松の浅野良策さん他の方々の御協力と御指導を頂きました。）

○写真は、水神の祠で、木の間を
もれる陽差しが白く光り、かえつ
は穿ちすぎでしようか。

「水魔が登る様に押寄せる津浪に早く平穏を」と祈る里人の念願

舟”とばかりに後に従いました。森の中は思ったより広く、うす暗いまでに樹木が繁茂していて、木間もる陽差しが、更に周囲の暗さを感じさせています。そして、朽ち倒れた屋根だけの小屋の下には、正面をくり抜いた、高さ六十センチ、一辺が二十七センチ×三十三センチ角位の石の祠が靈感を漂わせるように建っています。祠の上

立合の天王様の境内に建つて、いる金比羅様の祠が寛政十一年の建立(このシリーズその五十九参照)ということですから、それより七年前で、一丈六尺四寸。

立合の天王様の境内に建つてゐる金比羅様の祠が寛政十一年の建

ので、浅野さんの言葉を“渡りに舟”とばかりに後に従いました。

立合の天王様の境内に建つてゐる金比羅様の祠が寛政十一年の建

建設のあゆみ

<10月～11月>

完成了事業

・橋梁新設工事	横芝町鳥喰新田地先 長さ4.0m幅4.5m
・道路舗装新設工事	
町道鳥喰下区内線	686.0m
町道坂田区内線	227.0m
町道木戸台（町原）線	250.0m
・道路舗装補修工事	
町道東町児童館前通線	342.5m
・道路排水整備工事	
横芝町曾根合地先	152.0m

着工および工事中の事業

・環境整備事業下水整備工事	
横芝町横芝字野々合地先	129.4m
横芝町古川地先	112.0m
・道路排水整備工事	
横芝町古川地先	260.0m
横芝町小堤地先	306.0m
横芝町姥山地先	270.0m
横芝町新島荒場地先	140.8m
横芝町北清水閑場地先	133.0m
・道路舗装新設工事	
町道屋形南区内線	163.7m
・道路舗装新設および補修工事	
町道牛熊区内線	652.0m
町道両国新田区内線	826.8m

人権“なんでも”相談

みなさんが毎日の生活を営んでいて

*家庭内のものごと

*土地や家屋についてのあらそい

*隣りや近所とのトラブル

など、いろいろな悩みごとや心配ごとでお困りの方は、人権相談所・人権擁護委員の自宅または法務局に、いつでもお気軽にご相談下さい。相談は無料で秘密です。

〔人権相談所〕

日時 12月20日(火) 午前10時から午後3時まで

場所 横芝町役場

〔人権擁護委員〕

平山喜代次	北清水6213	(2) 2473
佐久間義一	木戸台1342	(2) 1954
土屋 武一	横芝1484	(2) 0928

感想文を募集—選挙管理委員会—

自治省および明るい選挙推進協会では、成人を迎えたかた、または迎えるかたに、成人としての感想、考え方並びに成人となつた後に経験した選挙等から感じた自觉などについての感想文を募集しています。

—408—

(1) 応募資格

昭和32年1月1日から昭和33年

12月31日までの間に生まれた者

(2) 字数
四百字詰原稿用紙4枚以内(3) 受付、締切期日
昭和52年11月1日から昭和52年12月31日まで（当日消印有効）(4) 提出先
横芝町選挙管理委員会(5) 選考方法
地方審査、中央審査等を行い、2月上旬に町選挙管理委員会を通じて本人に知らせます。

横芝句会十一月例会



霜の夜を妻のつづがに厨ごと
土屋 栗水
四百字詰原稿用紙4枚以内
石川 奇水
未枯や八ツ手は花に晴れつづき
土屋 栗舟
霜踏みて出勤の顔となりいたり
藤代 ゆう
未枯となり直売の店を閉め
大沢 竹王
一気に拭く物干竿の霜厚く
三枝 句城
未枯の影とらへたる水の光
向後 雅子
霜踏みて出勤の顔となりいたり
安井 ゆづる
未枯となり直売の店を閉め
鈴木 南知
未枯れて風にまかせるねこじや
らし
山の子にみな未枯るる通学路
土屋 栗舟

霜深き朝工事小屋湯気たぎり
宇井 芝童
煮る小かぶ漬ける小かぶを別に
置き
齊藤 ちくろ
直導犬信号待ちぬ霜の朝
池田 和代
霜深き朝工事小屋湯気たぎり
宇井 芝童
煮る小かぶ漬ける小かぶを別に
置き
齊藤 ちくろ
直導犬信号待ちぬ霜の朝
池田 和代

使う火を消すまで離すな日と心

空気が乾燥し、火災の発生しやすい季節となりました。

火災を起さぬよう各家庭では、次のこととに注意し、また心がけましょう。

◎ 幼児、老人だけ残して外出する

ことは極力避けましょう。

◎ 幼児、老人の安全な避難方法を考えておきましょう。

◎ 就寝前の火の元点検を必ず行な

いましょう。

◎ 寝たばこは、絶対にやめましよう。

◎自分が使う火は消すまで責任をもち、その都度安全を確認しましょう。

◎一日一回は、防火について反省しましょう。